

◇著者紹介 (執筆順, *は編者), ①所属, ②主要論文・著書

*松田 憲忠 (まつだ のりただ) 序・終章

- ①青山学院大学法学部教授
- ②『社会科学のための計量分析入門——データから政策を考える』(共編著, ミネルヴァ書房, 2012年)
- 『日本政治とカウンター・デモクラシー』(共著, 勁草書房, 2017年)
- 『よくわかる政治過程論』(共編著, ミネルヴァ書房, 2018年)

堀田 学 (ほった まなぶ) 1・10章

- ①新島学園短期大学キャリアデザイン学科准教授
- ②『自治体経営学入門』(共著, 一藝社, 2012年)
- 『ダイバーシティ時代の行政学——多様化社会における政策・制度研究』(共著, 早稲田大学出版部, 2016年)
- 『地方自治の基礎』(共著, 一藝社, 2017年)

青木 栄一 (あおき えいいち) 2章

- ①東北大学大学院教育学研究科准教授
- ②『地方分権と教育行政——少人数学級編制の政策過程』(勁草書房, 2013年)
- 『地方自治論——2つの自律性のはざままで』(共著, 有斐閣, 2017年)
- 『文部科学省の解剖』(編著, 東信堂, 2019年)

金子 光 (かねこ みつや) 3章

- ①慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員
- ②『公共事業予算の硬直性と行財政改革』(『地域マネジメント学会 平成20年度学術大会論文集』, 2008年)
- 『予算編成過程と歳出構造に関する理論的・実証的分析』(『地域マネジメント学会 平成21年度学術大会論文集』, 2009年)
- 『経済辞典〔第5版〕』(共著, 有斐閣, 2013年)

秋山 満 (あきやま みつる) 4章

- ①宇都宮大学農学部教授
- ②『農業経営の規模と企業形態——農業経営における基本問題』(共著, 農林統計出版, 2014年)
- 『日本農業年報63, 米離脱後 TPP11と官邸主導型「農政改革」——各品目への影響と「農協改革」の行方』(共著, 農林統計協会, 2018年)
- 『食と農でつむぐ地域社会の未来——12の眼で見たとちぎの農業』(共著, 下野新聞社, 2018年)

* 三田 妃路佳 (みた ひろか)

5・11章

①宇都宮大学地域デザイン科学部准教授

②『公共事業改革の政治過程——自民党政権下の公共事業と改革アクター』（慶應義塾大学出版会、2010年）

「政策終了における制度の相互連関の影響——道路特定財源制度廃止を事例として」（『公共政策研究』（12）、2012年）

『公共政策の歴史と理論』（共著、ミネルヴァ書房、2013年）

高橋 洋 (たかはし ひろし)

6章

①都留文科大学教養学部教授

②『イノベーションと政治学——情報通信革命<日本の遅れ>の政治過程』（勁草書房、2009年）

『電力自由化——発送電分離から始まる日本の再生』（日本経済新聞出版社、2011年）

『エネルギー政策論』（岩波書店、2017年）

藤本 吉則 (ふじもと よしのり)

7章

①尚絅学院大学総合人間科学系社会部門准教授

②『ローカル・ガバメントとローカル・ガバナンス』（共著、法政大学出版局、2008年）

『被災地から考える日本の選挙——情報技術活用の可能性を中心に』（共著、東北大学出版会、2013年）

杉浦 功一 (すぎうら こういち)

8章

①和洋女子大学人文学部教授

②『国際連合と民主化——民主的世界秩序をめぐる』（法律文化社、2004年）

『民主化支援——21世紀の国際関係とデモクラシーの交差』（法律文化社、2010年）

『日本政治とカウンター・デモクラシー』（共著、勁草書房、2017年）

鈴木 規子 (すずき のりこ)

9章

①早稲田大学社会科学総合学院教授

②『EU市民権と市民意識の動態』（慶應義塾大学出版会、2007年）

「フランスにおける市民的統合と移民の動向——ポルトガル系移民の政治的・経済的統合に関する事例」（『三田社会学』（21）、2016年）

『ヨーロッパにおける移民第二世代の学校適応——スーパー・ダイバーシティへの教育人類学的アプローチ』（共著、明石書店、2017年）